

\\ 10分でわかる！ //

2022年9月IAASBボード会議



【説明者】

永田 滋（当協会研究員）

井坂 久仁子（当協会研究員）

大生川 輝正（当協会研究員）

IAASBのスケジュール（2021年～2023年）

プロジェクト名	2021年				2022年				2023年			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
LCE（複雑でない企業）の監査基準		ED					★					承認
監査証拠（ISA 500）							ED					
不正（ISA 240）				PP			★			ED		
継続企業（ISA 570）					PP		★		ED			
上場企業及びPIE（社会的影響度の高い事業体）	トラック 1				PP	ED				承認	PIOB	
	トラック 2										ED	
サステナビリティ情報の保証							PP				ED	
2024年から2027年の戦略及び作業計画							★	ED				承認

※ PP：IAASBボードでのプロジェクト・プロポーザルの承認

ED: IAASBボードでの公開草案又はコンサルテーション・ペーパーの承認

承認：IAASBボードでの最終承認

PIOB：PIOBによる最終承認

LCE（複雑でない企業）の監査基準

プロジェクトの概要

- 複雑でない企業（Less Complex Entities : LCE）向けに、ISAと同じ保証水準の国際監査基準をISAとは別個に作成するプロジェクト
- 2021年7月に公開草案が公表され、2022年1月31日までコメントが求められていた。

9月ボード会議の審議概要

- LCEタスクフォースより以下の項目に関する見解が示され、議論がなされた。

▶ 規範性（基準の適用範囲）

- ✓ 定量基準を各国等で定めることを推奨

▶ 会計上の見積り

▶ グループ監査

- ✓ 構成単位の監査人を基準の対象外

▶ バランス(proportionality)

タイムライン

2022年1月31日：公開草案コメント期限

2022年6月：ボード審議



2022年9月

ボード審議



2023年3月

Part10「グループ財務諸表の監査」
公開草案審議予定

2023年12月

最終基準承認予定

プロジェクトの概要

- 主に次の目的からISA 500「監査証拠」改訂の検討を行っている。
 - ア. ISA 500の目的及び他のISAsとの関係の明確化
 - イ. 入手可能な情報及び情報源の多様化を反映
 - ウ. 企業と監査人によるテクノロジーの利用を認識
 - エ. 「十分かつ適切な監査証拠」の概念の明確化
 - オ. 職業的懐疑心の強調

9月ボード会議の審議概要

- ISA 500「監査証拠」改訂の**公開草案が承認**
- 公開草案の意見募集期間は**180日間**（通常は120日間）
- 改訂基準の承認後、約18か月の適用準備期間を設ける提案を説明文書（Explanatory Memorandum）に含める予定
- 各国又は地域によっては翻訳や改訂基準の適用に準備期間が必要であり、また、監査事務所におけるメソドロジー、ツールや研修資料等の改訂のために必要な期間を確保することを意図

タイムライン

2020年12月：プロジェクト・プロポーザル承認

2022年3月・6月：ボード審議



2022年9月

公開草案承認



公開草案の公表：10月下旬頃
コメント期限：2023年4月後半予定



2024年6月

最終基準承認予定

プロジェクトの概要

- 近年発生した様々な大型会計不正事件を受けて、一部の国では財務諸表監査における不正及び継続企業に関する監査人の役割及び責任について疑問が呈され、独自の対応が進められている。

9月ボード会議の審議概要

- 不正タスクフォースより、以下の項目に関する見解が示され審議が行われた。

▶ 不正に関する監査報告書の透明性

- ✓ 監査報告書に個別のセクションとして、以下を記載する。
 - ・ 財務諸表監査における不正に対する監査人の責任
 - ・ 不正リスクの識別と評価及びその評価したリスクへの監査人の対応
 - ・ 財務諸表の不正の防止及び発見に関連する識別された内部統制の重要な不備
- ✓ 本対応の適用範囲（上場会社のみ若しくは全ての会社にするべきか）

- ▶ 不正による重要な虚偽表示リスクの識別と評価に関する草案の再構成

タイムライン

2021年12月：プロジェクト・プロポーザル承認

2022年6月：ボード審議



2022年9月

ボード審議



2023年6月

公開草案承認予定



2024年12月

最終基準承認予定

継続企業

プロジェクトの概要

- 近年発生した様々な大型会計不正事件を受けて、一部の国では財務諸表監査における不正及び継続企業に関する監査人の役割及び責任について疑問が呈され、独自の対応が進められている。

9月ボード会議の審議概要

- 以下の項目への対処について、継続企業タスクフォースの最初の見解が示され、審議が行われた。

- ▶ 用語（（継続企業の前提に関する）重要な不確実性）
- ▶ リスクの識別と評価
- ▶ 継続企業の前提に関する経営者の評価
 - ✓ ISA540と整合したアプローチ
- ▶ 職業的懐疑心
- ▶ 継続企業の前提の評価に関するタイムライン
 - ✓ 評価期間は財務諸表承認日から12か月

タイムライン

2022年 3 月：プロジェクト・プロポーザル承認

2022年 6 月：ボード審議



2022年 9 月

ボード審議



2023年 3 月

公開草案承認予定

2024年 6 月

最終基準承認予定

サステナビリティ情報の保証（1）

プロジェクトの概要

- サステナビリティ/ESG報告の**包括的な保証基準**を開発するプロジェクト

9月ボード会議の審議概要

- サステナビリティ報告の包括的保証基準に関する事項が議論された。

- ▶ 新保証基準開発のプロジェクト・プロポーザル（PP）を承認
- ▶ 用語の定義（例：アサーション）
- ▶ 新保証基準の全体的な構成
- ▶ 要求事項・適用指針を開発する際のアプローチ
- ▶ 6つの優先事項

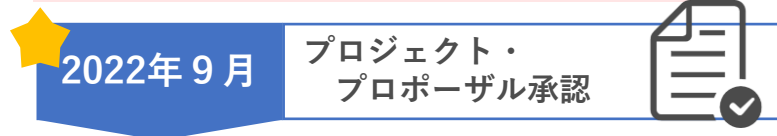
- 新サステナビリティ保証基準の名称案

International Standards on Sustainability Assurance (ISSA) 5000,
General Requirements for Sustainability Assurance Engagements
国際サステナビリティ保証基準 (ISSA) 5000
「サステナビリティ保証業務の一般的要求事項」

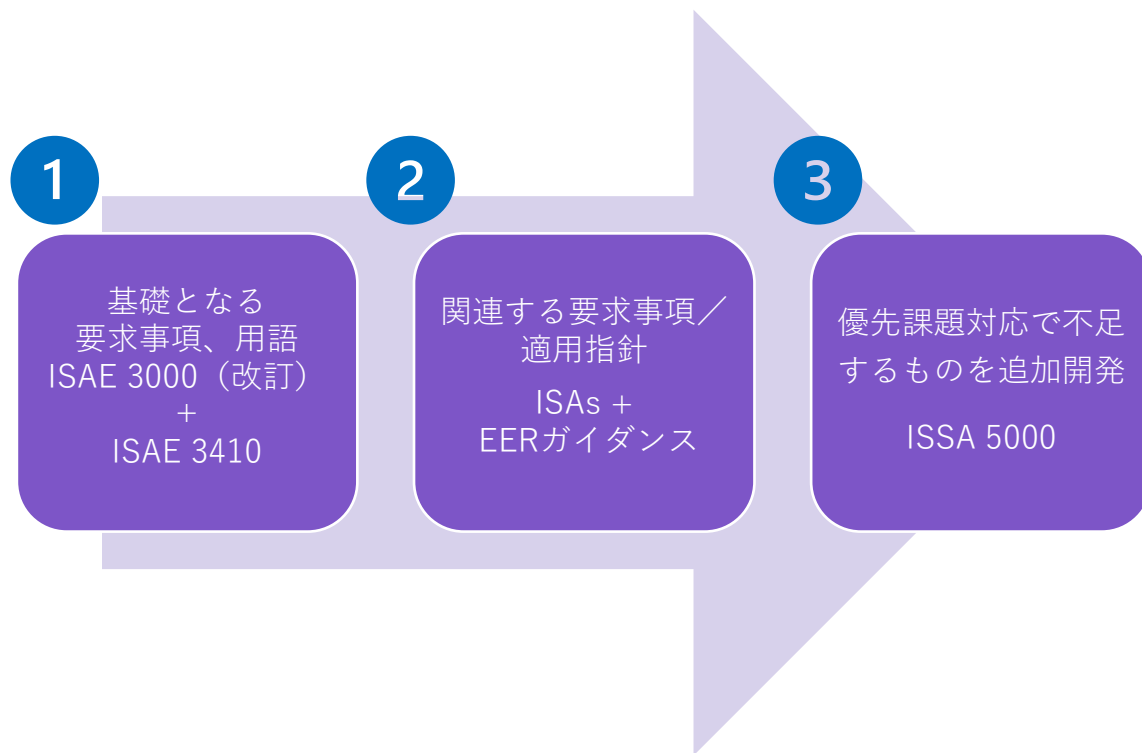
タイムライン

2022年1月：リサーチ活動開始

2022年6月：ボード審議



サステナビリティ情報の保証（２）



優先課題対応



限定的保証
vs. 合理的保証



適切な報告規準
(criteria)



保証業務の範囲



証拠
(evidence)



内部統制



業務実施上の重要性
(materiality)

2024年から2027年の戦略及び作業計画

プロジェクトの概要

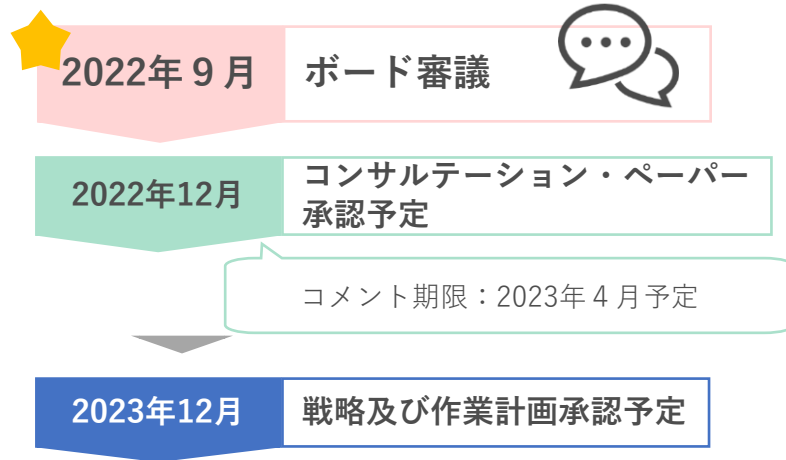
- IAASBにおける2024年から2027年までの新しい戦略及び作業計画を策定するプロジェクト

9月ボード会議の審議概要

- コンサルテーション・ペーパーの方向性が示され、概して支持された。
- 進行中のプロジェクトがおおむね2024～2025年に完了することを踏まえ、2024年に1件、2025年に2～3件、2026年に1～2件の新規プロジェクトの開始が見込まれる。
- 開始される可能性のある新規プロジェクトは以下のとおり。

監査及びレビュー	サステナビリティ及びその他の保証業務
- 重要な虚偽表示のリスクの評価への対応（ISA330の改訂版） - 分析的手続（ISA520の改訂版） - 監査サンプリング（ISA530の改訂版） - 中間財務情報のレビュー（ISRE2410の改訂版） - 監査人の専門家の作業の利用（ISA620の改訂版） - 共同監査 - 重要性（ISA320の改訂版） - 狭い範囲のメンテナンスプロジェクト	- サステナビリティ報告の保証のための更なる基準 - XBRLに関する保証

タイムライン



●●信頼の力を未来へ
jicpa

